

各会議等の実施状況報告について	提出日	平成29年3月10日
	担当課	スポーツ推進課

会議名称 ジュニアスポーツクラブ推進委員会

開催日時 平成 29 年 3 月 2 日 (木) 19時 00分 から 19時45分

開催会場 湖西運動公園管理事務所会議室

出席者 委員17名中 14名出席

会議内容

① 平成28年度ジュニアスポーツクラブ活動についての反省・成果について

委員： 2年生が中心。1年生は3人申込みがあったが、実際にほぼ来ていたのは1人。当初は月1回の活動予定であったが、顧問との話の中で、出来るだけ活動回数を増やし、月2回活動する月もあった。1年生が少ないという点で来年度以降の活動に不安がある。

委員： 3年生が中心のチームであったため、1、2年生は3年生引退後から中学野球を始めたような子が多く、基本的なことから指導した。来年度は東小と知波田小の少年野球から野球を続ける子が15人ほどいると聞いている。できれば仮入部の時期から早くジュニアの活動に参加させたい。

委員： 学校や部活によって異なるが、5月の連休明け頃には本入部としているところが多い。(1学期中はお試し期間のような感じで部の移動をする生徒もいる。)

事務局： 来年度、1年生に募集をかける時期を早める方向で検討する。

委員： 3年生が抜けた後1、2年生10人での活動。全員が毎回参加してくれた。他地区と同様生徒が減ってきているが、その分中身の濃い活動を継続できればと思う。

委員： 毎年の傾向であるが、各中学校で参加人数にバラつきがある。難しいことだが、各学校から5、6名ずつ参加があるといい。また、女子の参加要望があれば受け入れたいと思う。

委員： 夏頃から運動部の生徒は部活と予定が重なり始め、下半期の日曜日の午前中に変更後は参加者の都合が合わず中止となった。運動嫌いな子を継続させるのは難しい面があり、運動部に入っている子は予定が被ってしまう。ソフトテニス学校に部活がないという点で日程の調整が難しい。

委員： 13人が登録したが、すぐ1人が辞めた。3人はずっと来ない。部活があればそちらが優先になるので、ジュニアの意味を考え直す必要があるのでは？当初は学校が週休2日制になる動きの中で、子どもたちの受け皿としてなにか活動できないかということで始まった事業。現在は土日も活発に部活が行われている状況で人集めに苦労する。ジュニアという対象が中学生に限定されてしまうので、例えばみんなのスポーツ教室と統合していくとか、対象年齢を下にひろげていくべきではないか？教室との違いはなにか？そういう面も含めて見直しの時期にきている。

委員長： ジュニアスポーツクラブは要綱の中で動いており、これをすぐに変えるというのは難しい。また、種目によっては少年団との絡みもあり、対象年齢を下げるのは難しいのではないか。今後の検討課題である。

② 平成29年度ジュニアスポーツクラブ種目及び募集要項について

事務局： 来年度は新種目として柔道を要綱に追加した。会場は新居中柔道場で第2・第4土曜日の夜に活動していただく。また、今年度申込み後のキャンセルにより、保険料のトラブルがあったため、キャンセルができない旨の文言を加えた。また、来年度4月1日からスポーツ推進課の事務局が移転となるため、連絡先に新事務所連絡先を加えた。

委員： 細かいところではあるが、「キャンセルができない」ではなく、「申し込み後のキャンセルは保険料について支払っていただく」という主旨の文言に修正すべきかと。

委員： 見ていると、子ども達にとって魅力のあるペーパーにはなっていない。子どもたちが要綱をみて申し込んでみたいと思うような文言であったりイラストであったり工夫した方が人が集まるのでは。ジュニアは部活がある種目のところは部活の子が入る。部活がない種目をいかに取り出してあげるか。文化部の子どもたちが月に1回でも運動したいという気持ちにさせられればバドミントンやソフトテニスの参加者が少しでも増えるのではないか。それがジュニア本来の意義ではないかと個人的には思う。

事務局： 各委員の意見を反映させた要綱を作成し、近日中配布する。

③ 各クラブ活動日程について

事務局： 活動日程について変更はあるか？

委員： サッカーは土曜日の午前に変更を希望する。

事務局： 初回活動日については4月の第2土曜日とする。